

会 議 の 経 過

開 会 午前10時00分

令和8年1月6日

議 長（高橋拓生君）

ただいまから、令和8年平泉町議会定例会を開会いたします。

令和8年平泉町議会定例会が開催されるに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

新年新春のお喜びを申し上げます。

年頭に当たり、平泉町議会を代表し、皆様に心よりご挨拶を申し上げます。

日頃より、議会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

令和8年、ひのえうまの年は、物事が大きく動き、前へ進む力や活力が強まる年とも言われております。変化の時代にあっても、確かな歩みを積み重ねることの大切さを改めて心に刻む一年にしたいと考えております。

平泉町議会では、町民に信頼され、開かれた議会を基本理念に、広報広聴の実質化やICT活用をはじめとする議会改革を推進し、住民の参加に、次世代に開かれた議会づくりに取り組んでおります。

また、議員の成り手不足という課題を踏まえ、昨年には特別委員会を設置し、議会機能の維持と人材確保に向けた検討を進めております。

本年は世界文化遺産登録15周年、合併70周年記念事業に加え、中尊寺落慶900年という大きな節目が重なる誠に意義深い一年となります。これまでの歩みを未来へとつなぐ決意を新たにし、町政のさらなる発展に取り組んでまいります。

人口減少や少子高齢化、物価高騰、デジタル化の進展など、町を取り巻く社会環境は大きく変化しております。行政と連携し、町民の皆様とともに地域の未来を切り開く、開かれた議会として責務を果たしてまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、本年が平泉町にとって希望と活力に満ちた一年になりますことをご祈念し、新年のご挨拶といたします。

次に、青木町長からご挨拶をお願いいたします。

青木町長。

町 長（青木幸保君）

それでは、新年に際しましてご挨拶を申し述べさせていただきます。

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

議員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお喜びを申し上げます。

令和8年最初の平泉町議会の開会に際し、ご挨拶の機会を賜り、厚く御礼を申し上げます。

物価高騰が続く中、国や県の支援と併せて、町独自の支援策を講じ、住民生活と地域経済の安全、安心の確保に全力を尽くしてまいります。

昨年、平泉町は町村合併施行70周年を迎えました。この節目に、若者の未来づくり会議や中学生のひかり未来会議を開催し、シティープロモーションや祭りの運営、働く場の確保、移住促進などについて貴重なご意見を賜りました。

今後のまちづくりには、若者の発想や行動が原動力となるものと考えております。若者が主体的にまちづくりに参画できる仕組みをともに構築し、持続可能な町を目指してまいります。

本年は、世界遺産登録15周年と中尊寺落慶供養900年の記念すべき年です。町民の皆様が平泉の文化遺産の価値を再認識し、町への愛着をさらに深めていただく機会としたいと考えております。この節目を契機に、拡張登録の実現に向けた取り組みを推進するとともに、関係機関、団体、町民が一体となって記念事業を展開し、にぎわいを創出してまいります。

また、令和8年度は平泉町総合計画後期基本計画の初年度となります。全世代型平泉学の推進、認定こども園の移行、切れ目のない子育て支援、中尊寺通りの活性化、地域おこし協力隊とともに農業振興を図り、雇用の確保や地域公共交通の維持など、多岐にわたる施策に取り組めます。

町民が誇りと愛着、夢と希望、安心と元気を実感できるよう、町民と対話し、一緒に行動するをモットーに、政策の実現に邁進してまいります。

本年も町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、議会の皆様と車の両輪として連携し、活力あるまちづくりに全力で取り組む所存です。引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、議員各位のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

議長（高橋拓生君）

ただいまの出席議員は全員です。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

これから1月会議を開きます。

日程に入るに先立ち、諸報告を行います。

議長から諸般の報告を行います。

本定例会1月会議に町長から提出された議案は、お手元に配付した議案送付書のとおり受理したので報告いたします。

定例会1月会議に説明員として出席する者の職氏名を一覧表にしてお手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

以上で議長の諸般の報告を終わります。

これから本日の議事日程に入ります。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。この日程で進めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（高橋拓生君）

異議なしと認めます。

したがって、この日程で進めることに決定いたしました。

直ちに本日の日程に入ります。

議 長（高橋拓生君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、9番、佐藤孝悟議員及び10番、千葉勝男議員を指名いたします。

議 長（高橋拓生君）

日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から12月27日までの356日間にしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議 長（高橋拓生君）

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から12月27日までの356日間と決定いたしました。

議 長（高橋拓生君）

日程第3、議案第1号、令和7年度平泉町一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

青木町長。

町 長（青木幸保君）

それでは、補正予算案件1件につきましてご説明を申し上げます。

議案書3ページをお開き願います。

議案第1号、令和7年度平泉町一般会計補正予算（第7号）でございます。

令和7年度平泉町の一般会計補正予算（第7号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,643万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ57億7,934万2,000円としようとするものでございます。

以上、提案いたします。ご審議のほどよろしく願いをいたします。

議 長（高橋拓生君）

これで説明を終わります。

お諮りします。

ただいま説明があった議案につきましては、担当課長の補足説明を求め、議決したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(高橋拓生君)

異議なしと認めます。

したがって、そのように進めることに決定いたしました。

議案第1号について、担当課長の補足説明を求めます。

岩淵総務課長。

総務課長(岩淵嘉之君)

それでは、議案書3ページをお開き願います。

議案第1号、令和7年度平泉町一般会計補正予算(第7号)について補足説明をさせていただきます。

本補正予算案につきましては、昨今の物価高騰の影響を受けている生活者、子育て世帯への支援策として、国の臨時交付金を活用した事業の早期実施に必要な予算を計上するため、今議会に提案させていただくものでございます。

議案書4ページをお開き願います。

第1表歳入歳出予算補正の補正額で説明させていただきますが、款項同額の場合は項の補正額で説明いたします。

初めに、歳入でございます。

14款国庫支出金、2項国庫補助金5,643万5,000円、これには物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3,961万1,000円、物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金1,660万円が含まれております。

歳入合計補正額5,643万5,000円でございます。

次に、議案書5ページをお開き願います。

歳出でございます。

2款総務費、1項総務管理費3,961万1,000円、これには生活応援商品券換金等業務委託料3,503万円が含まれております。

3款民生費、2項児童福祉費1,682万4,000円、これには物価高対応子育て応援手当1,660万円が含まれております。

歳出合計補正額5,643万5,000円でございます。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長(高橋拓生君)

これで担当課長の補足説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(高橋拓生君)

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

議 長 (高橋拓生君)

討論なしと認めます。

これから議案第1号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

議 長 (高橋拓生君)

起立全員です。

したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

議 長 (高橋拓生君)

これで本日の日程は全て終了いたしました。

閉議の宣言をいたします。

ご起立願います。

これをもちまして、令和8年平泉町議会定例会1月会議を閉じます。

ご苦労さまでございました。

散会 午前10時13分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平泉町議会議長 高 橋 拓 生

署名議員 佐 藤 孝 悟

同 千 葉 勝 男